記者発表資料

平成２３年１０月１８日
東 北 地 方 整 備 局

道路に関する新たな取組の現地実証実験（社会実験）にＩＴＳスポット周辺等における災害情報に関する社会実験が選ばれました

○ 国土交通省道路局では、道路に関する先進的または斬新な施策について、当該施策を本格実施するにあたり、効果や影響を確認するため、場所と期間を限定して試行・評価する実証実験を実施しており、東北地方整備局管内でも、公募により実証実験を実施いたします。

○ 平成２３年度に実施する実験のテーマを公募したところ、全国２４地域から応募がありました。これらの案件について１０のテーマが選定され、東北地方整備局管内から「ＩＴＳスポット周辺等における災害情報に関する社会実験」の１テーマが選定されましたのでお知らせします。

○選定された地域及び実験内容については、以下のホームページをご覧下さい。
http://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html

【東北関係】

○実験名：ＩＴＳスポット周辺等における災害情報に関する社会実験
（応募者：あおもりＩＴＳ推進研究会）

○内　容：東日本大震災を契機に、道の駅やＩＴＳスポット周辺において求められている災害情報やサービスのニーズを把握し、それらを踏まえた災害情報のプラットフォームを構築し、各種端末（パソコン・携帯電話・スマートフォン・カーナビ）へ試験的に情報提供を行い、情報の集約化や運用管理のあり方等について検証を行う。

〈発表記者会：青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先　国土交通省東北地方整備局　TEL　022-225-2171（代表）
道路部　道路計画第二課　課　長　舟山（ふなやま）　和重（かずしげ）（内4251）
建設専門官　宍戸（ししど）　英雄（ひでお）（内4256）

資料①

選定実験一覧

実験の名称	実施地域	実験概要
自然災害に強い札幌都心部地下物流社会実験	北海道札幌市中心部	都心部の地下駐車場に荷捌きスペースを仮設し、地下通路網を活用した物流の実験を行うことにより、災害に強い地下物流システム構築の可能性を検証する。
ITSスポット周辺等における災害情報に関する社会実験	青森県青森市	道の駅やITSスポット周辺において求められている災害情報やサービスのニーズを把握し、それらを踏まえた災害情報のプラットフォームを構築し、各種端末（パソコン・携帯電話・スマートフォン・カーナビ）へ試験的に情報提供を行い、情報の集約化や運用管理のあり方等について検証する。
行幸通り地下周辺における防災性能向上のあり方検討社会実験	東京都千代田区（行幸通り地下周辺）	地下通路において災害発生時を想定した滞留の社会実験を行い、地下の道路占用空間における防災性能の向上のあり方と、その役割を担っていく上で必要な制度見直しの方向性を検討する。
新潟市中心市街地における商店街と連携した道路空間の活用実験	新潟県新潟市中央区古町地区	自動車中心の道路空間の見直しを行い、自転車利用者や商店街にとって利便性が高く、歩行者の安全性が確保される自転車通行帯や駐輪場の配置、構造、レイアウトを検討する。
富士山すっきりサイン実験	静岡県富士宮市朝霧高原地域	優れた自然景観の阻害要因となっている、幹線道路沿いに乱立する民間案内看板や道路標識を集約整備（集約案内サイン）することにより、景観性、視認性、交通安全性の向上等の効果を検証するとともに、道路管理に係る運営維持の仕組み等について検討する。
持続的な道路PPP（民間事業収益の公共還元スキーム）の仕組みづくり社会実験	愛知県名古屋市	大都市部の中心市街地の道路空間において広告掲示等の民間収益事業と公共還元事業を試験的に実施することにより、民間資金を活用した官民連携による道路の維持管理の仕組みづくり（道路PPPの試行）について検証する。
京都市「歩くまちゾーン」実証実験	京都府京都市中京区の一部（歴史的都心地区）	都心の細街路においてカラー区画線による歩行者優先のゾーン対策を試験的に行うことにより、安価で実施可能な歩行者の安全対策の効果を検証するとともに、景観に配慮した空間デザインを検討する。
鳥取自動車道地域交流社会実験	鳥取県鳥取市～兵庫県佐用町（鳥取自動車道とその沿線）	SA・PAが設置されていない新直轄方式の高速道路のIC周辺において現道沿線施設の案内標識を設置するとともに、現道の「道の駅」をSA代替施設化すること等により、現道沿線の地域への誘導効果について検証する。
自転車歩行者道での自転車の一方通行推奨による有効性検証実験	愛媛県松山市	自転車通行量が多い区間において、自転車矢印マーク等を設置し自転車の一方通行を推奨することにより、自転車や歩行者の安全性および沿道事業所や商店への影響について検証する。
道路植栽帯の維持管理に関する社会実験	熊本県熊本市、八代市（国道3号、57号沿線地域）	ボランティア団体が管理する道路植栽帯に設置する簡易的なサインボードに企業名を表示し、企業の社会貢献活動を広くPRすることをインセンティブに、民間企業からスポンサー資金を募り、継続的にボランティア活動を行える仕組みを検証する。